

令和8年度 補助対象研修一覧①										地区 ※講師Zoom参加の場合		地区 ※講師現地参加の場合					
番号	研修名	概要	主な内容	対象	時間	保険会社	講師氏名	負担		負担		負担		負担			
								負担	負担	(共催) ※全額2割/年	(単独)	(共催) ※全額2割/年	(単独)	(共催) ※全額2割/年	(単独)		
医療安全	① 報告文化を育てよう！～インシデント報告の重要性	リスクマネジメントにおける「リスク把握」の重要性と、インシデント報告が医療安全に果たす役割について解説します。また、病院におけるインシデント報告の活用方法について分かりやすく解説します。	・リスクマネジメントプロセス ・インシデント報告の意義 ・インシデント報告の活用	全職員	60分	(株)メディカルクリエイト	ディレクター 高橋 俊一 取締役・ディレクター 米道 利成	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	② 医療安全概論	医療安全における基本的な取り組みと、法的な観点からみたリスクマネジメントのポイントを解説します。 ・安全管理に求められる基本的な取り組み等、院内の医療安全を推進するリスクマネージャーとして役割を果たすために必要な知識を得ることを目的とします。 ・医療事故発生時、医療行為に過失が認められれば医療従事者は法的な責任を負うことになります。どのような責任が問われるのかを理解し、院内のリスクマネジメントにつながる教訓を得るために過去の事例を紹介いたします。	・リスクマネージャーの役割と業務内容 ・医療訴訟の現状 ・医療事故発生時の法的責任 ・裁判事例等の解説	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	●	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
コミュニケーション	③ 医療安全のためのノンテクニカルスキル	職員間のコミュニケーションを中心に、医療安全のためのノンテクニカルスキルを考えます。職員間のコミュニケーションエラーによる医療事故がどのように発生するのか、どうしたら防げるのかを具体的な事例をあげながら解説します。	・メンタルモデル共有の重要性 ・コミュニケーションの失敗と医療事故 ・コミュニケーションエラーを防ぐために ・エラー回避を促進するための考え方とスキル	全職員	60分	(株)メディカルクリエイト	ディレクター 高橋 俊一 取締役・ディレクター 米道 利成	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	④ チームワークを高める「心理的安全性」	今、チームで安全な医療を提供するための「心理的安全性」(気兼ねなく発言できる雰囲気)が目されています。心理的安全性の意義や、それを高める方法を解説します。	・心理的安全性とは ・心理的安全性とコミュニケーション ・心理的安全性を高めるメンバーとリーダーの役割 ・心理的安全性と責任	全職員	60分	東京海上日動メディカルサービス(株)	主席研究員 山内 桂子	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	⑤ ワークで学ぼう！みんなのSBAR～報告・連絡のためのコミュニケーションスキル～	医療現場で、状況を確実に伝えるために必要なコミュニケーションスキル(SBAR:エスバー)について、ワークを通して理解していただきます。	・SBARを用いて報告・連絡を行う意義や方法の解説 ・具体的な伝達場面例を用いて台詞の作成(グループワーク) ・スキルを活用するための留意点	全職員	60～75分	(株)メディカルクリエイト	ディレクター 高橋 俊一 取締役・ディレクター 米道 利成	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	⑥ 患者・家族を支えるコミュニケーション～納得と信頼を築くために～	患者・家族とのコミュニケーションでは、何に注意し、どのように対応したらよいかを、具体的な事例で解説します。	・患者・家族とのコミュニケーションの特徴 ・情報の送り手と受け手のメンタルモデルの違い ・日頃の診療場面における言語・非言語、コミュニケーションの重要性 ・情報を正しく伝える工夫	全職員	60分	(株)メディカルクリエイト	ディレクター 高橋 俊一 取締役・ディレクター 米道 利成	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	⑦ 患者・家族とのコミュニケーション	苦情発生予防の観点も交え、患者・家族と円滑なコミュニケーションをする簡単なテクニックを解説します。 ・患者・家族が医療機関に対して不安・不満を持つ背景には、コミュニケーションの問題が存在しているケースが少なくありません。患者・家族から信頼感を得るためのポイントをご紹介します。 ・コミュニケーションの場面で生じる苦情やクレームの発生を防ぐことも目的として、患者・家族と円滑なコミュニケーションをするためのテクニックを学びます。接遇の要素を講義内容に加えることも可能です。	・コミュニケーションにおける相手側の心理 ・相手に安心感を与える関わり方 ・効果的な質問技法	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	●	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
	⑧ 職員間のコミュニケーション	医療事故やチーム内のトラブルの原因となるコミュニケーション・エラーとエラー回避のポイントを解説します。 ・医療安全においてコミュニケーションの重要性が強調されてきていますが、コミュニケーション・エラーは事故の原因となるだけではなく、職員間士のトラブルの原因となり、診療の質に悪影響を及ぼす可能性もあります。コミュニケーション・エラーがいかに現場で重大な影響をもたらすかを理解することを目指します。 ・ケース・スタディ等を通して、コミュニケーション・エラーを防止するためのポイントを学びます。	・コミュニケーションの基本 ・コミュニケーション・エラーによる事故事例 ・コミュニケーション・エラー防止のためのルール作り	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	●	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
	⑨ 医療安全のためのアサーション～自分も相手も大切にするコミュニケーションスキル～	チームで仕事を医療現場で、どのように自分の気持ちや考えを率直に伝えていけばよいでしょうか。自分も相手も大切にすることが自己表現のスキルであるアサーションを理解し、「伝えにくいことを伝える」ためにどのように表現していけばよいかを考えます。	・アサーティブとは ・医療安全とアサーションの関係性 ・アサーティブな自己表現ができる条件	全職員	60分	東京海上日動メディカルサービス(株)	主席研究員 山内 桂子	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	⑩ 事例から考える 医療現場の個人情報の取り扱い	医療現場での個人情報の取り扱いについて、具体的な対応方法を整理します。安全な医療の提供に必要な情報を有効活用するためには、個人情報保護法を正しく理解し、適切な管理をすることが重要です。また、漏えい等の報告の義務化への対応についても解説します。	・個人情報保護法を理解する ・個人情報を守るための様々な報道 ・個人情報の適切な取り扱いのための対策	全職員	60分	(株)メディカルクリエイト	ディレクター 高橋 俊一 取締役・ディレクター 米道 利成	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	⑪ 医師が語る 事例から学ぶリスクマネジメント	医療事故の賠償決定に携わる医師が、様々な事例を用いて医療安全について解説します。(医師を対象とする研修にもお勧めです。)	・医療事故訴訟の現状 ・医療事故の発生状況 ・実際の事故事例を用いた解説	全職員	60分	(株)メディカルクリエイト	浜松医科大学 医学部 医療法教室 教授(医師・弁護士) 大橋 義一郎	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
事例	⑫ 【事例解説】説明義務違反	医療機関の説明義務が問題にされた事例をもとにインフォームド・コンセントの注意点を解説します。 ・近年、医療訴訟の全体としての件数は減少傾向にありますが、一方で説明義務違反を巡る訴訟は増加傾向にあり、訴訟に注目が集まっています。説明義務違反が問題となった事例を解説し、インフォームド・コンセントにつなげるための説明義務違反が関与した事例を解説します。 ・また、患者・家族に説明して同意を得るべき内容と程度は一律ではなく、ケースによって変わってきます。状況によって求められる説明の水準は異なるということをご理解頂きます。	・説明義務を負う要件 ・求められる説明の範囲 ・インフォームド・コンセントの注意点	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	-	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
	⑬ 【事例解説】医療機関における記録の重要性	リスクマネジメントの観点から、事例解説をもとに記録の注意点を解説します。 ・診療録は、その作成と保存が法令で義務付けられているものであり、医師の思考過程や実施した治療を反映したものであり、訴訟においては有益記録と同様に重視されます。これらの記録類が法律上どのように取り扱われるのかを理解することを目的とします。 ・具体的にどのような記載が問題とされたのかを知り、院内におけるリスクマネジメントにつながるポイントを学習します。	・記録する際のポイント ・記録の正確による影響 ・過去の事例から学ぶ注意点	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	●	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
ヒューマン	⑭ エラー防止の実践～SS-KYTを活用して～	ヒューマンエラーの特性に基づいて、SS(整理・整頓・清掃・清潔・習慣化(しつけ))やKYT(危険予知トレーニング)を活用したエラー防止策を解説します。	・ヒューマンエラーの特性 ・モノ・環境を見直す重要性 ・SS-KYTのいかし方	全職員	60分	(株)メディカルクリエイト	ディレクター 高橋 俊一 取締役・ディレクター 米道 利成	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	⑮ ヒューマンエラーと医療安全	ヒューマンファクターの説明とともに医療現場におけるエラー防止に向けた取り組みを解説します。 ・効果的な安全管理のためには、人為的なミスではなく組織内のシステム欠陥に目を向けることが重要ですが、どんなに注意していても人は誰でも間違えるということを理解する必要があります。 ・人間の特性や陥りやすい失敗を理解した上で、ヒューマンファクターに配慮した安全対策を考えられるようにすることが狙いです。	・ヒューマンファクターについての学習 ・ヒューマンエラーをミニワークで体験 ・対策のグループワーク ・エラー防止に向けた取り組み	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	●	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
クレーム	⑯ 医療サービス職のためのトラブルを回避する伝え方	「言ってしまいがちな伝え方」からそれぞれのデメリットを考え、相手に配慮しながら伝えたいことを明確に伝えるための方法を解説します。事例を使って「トラブルを招かない」伝え方が習得できます。	・職員にとっての「コミュニケーション」の重要性 ・「伝え方」で変わる「伝わり方」 ・自分も相手も大切にできる伝え方 ・気まずくならない伝え方	全職員	60～90分	(株)メディカルクリエイト	オフィス アランチャ株式会社 代表取締役 公益財団法人日本電信電話ユーザー協会 長崎講師 電話対応技能検定(もしもし検定) 指導員 山本 淳子	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	⑰ 警報OBが語る 院内クレーム・暴力対応の実例	警報OBが、大病院の渉外室担当の経験をもとに、事例を交えながら、暴力を振るう患者への職員の対応や病院としての取り組みについて、具体的に解説します。	・病院における暴力の実際 ・患者が怒る理由と、クレームに対する具体的な対応方法 ・警報との連携	全職員	90分	(株)メディカルクリエイト	東京歯科大学市川総合病院 参与 木川 正博	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	⑱ 苦情対応のポイント	苦情やクレーム対応におけるポイントやケース・スタディ等を用いながら注意点を解説します。 ・社会全般において苦情やクレームは増大傾向にあり、その対応の重要性も増えています。医療現場でも例外ではありません。苦情対応、特に最近増えている苦情やクレームの発生を未然に防ぐための対応方法が重要です。 ・また、苦情は担当者の対応次第で事後の展開が大きく変わることがあります。診療への影響を減らすためにも、苦情を悪化させないための注意点を理解することも目的とします。	・苦情受付時の対応ポイント ・電話対応のポイント ・苦情への対応 ・患者対応ケース・スタディ	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	●	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
	⑲ 悪質クレームへの対応	悪質クレーム、不当要求、違法な暴力等に対応する際の基本方針について解説します。 ・苦情の件数増加とともに、その内容も悪化する傾向にあります。医療機関への理不尽な要求や根拠のない不当要求、中には暴力の脅迫を伴ったものも増えています。そうした悪質クレームに対しては、通常の苦情対応とは異なる対応方針で臨むことが必要です。 ・また、患者・家族から暴言・暴力を受けた場合、どのような行為が違法となるのかを理解することも目的とします。	・医療機関に対する悪質クレームの動向 ・悪質クレームへの対応の仕方 ・法律上の暴力とは	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	●	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
	⑳ 個人情報保護対策	個人情報保護法のポイントと情報漏えい防止の観点から対応の注意点を解説します。 ・個人情報保護の法制化とともに、社会的関心も高まり続けていますが、医療機関においても十分な個人情報保護対策をとることが必要です。特に注意すべき点の理解するため、法令上の要求事項を学びます。 ・医療機関でも情報セキュリティ事故が後を絶たず、情報漏えいを防止するための注意点を、組織としての対策と個人としての対策から紹介します。	・個人情報保護法について ・個人情報保護の重要性 ・情報セキュリティ事故防止のポイント ・組織的対策と個人での取組み ・情報漏えい事故事例の紹介	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	●	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
その他	㉑ 医療勤務環境改善セミナー	2024年4月より勤務医の時間外労働の上限規制の適用が始まりました。医師の働き方改革に関する、勤務時間インターバルや代休確保、面接指導などやなければならないことについての再確認と、具体的な対応に関して説明します。	・時間外労働規制について ・2024年4月1日以降の36協定について ・追加の健康確保措置及び立入検査について	管理職	60分～90分	(株)メディカルクリエイト	厚生労働省「多様な働き方」普及・促進事業導入支援員 特定社会保険労務士 福島 通子	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	㉒ 災害時における診療業務の継続(BCPについて)	災害時における診療業務の継続、また早期に復旧・再開するために必要な対策について解説します。 ・東日本大震災のような大規模な震災が発生した際でも、医療機関はその社会的使命から診療を継続すること、中断した場合でも早期に復旧・再開することが求められます。本研修では、震災時における診療業務の継続の考え方と、診療業務を継続する、あるいは早期に復旧・再開するための必要ノウハウについて、一層ワークショップも交えて解説します。 ・災害時の医療機関における業務継続の考え方や取組み事例を紹介し、診療を継続するために必要な対策を解説することで、震災時に医療従事者や事務職員として必要な行動を理解することを目指します。	・東日本大震災における被災事例と取組み事例 ・医療機関における業務継続の考え方 ・業務継続に必要な対策の洗い出し ・医療従事者・事務職員に求められる行動	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	●	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
	㉓ 医療機関におけるハラスメント	医療機関におけるセクハラ・パワハラ事例を紹介し、その問題点と対策について解説します。 ・医療機関における「セクハラ」「パワハラ」が大きな社会問題になっていますが、医療現場においても例外ではなく、そうした事件が後を絶ちません。 ・ハラスメントは、職員の尊厳や人権を侵害する許されない行為であることはもちろん、就業意欲の低下や人材の喪失をもたらす、事業の停滞を招きます。 ・この研修では、ハラスメントの問題を正しく理解し、明るく働きがいのある職場づくりに向けた、ハラスメント予防・対策を解説します。	・セクシュアルハラスメント・パワハラメントとは？ ・ハラスメントのさまざまな事例 ・ハラスメントによる影響と問題点 ・ハラスメントの予防と対策	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	●	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
	㉔ 医療事故調査制度の概要とその対応 ※2026年度から廃止となります	2015年10月施行の改正医療法に伴う医療事故調査制度の概要とその対応について解説します。 ・2015年10月施行の改正医療法では、予期せぬ死亡・死産に対する院内医療訴訟の訴訟が訴訟記録の大小を問わず義務化されました。すべての職員が医療事故調査制度を正しく理解することを目指します。 ・また、同法では、院内医療事故調査の結果を適宜に説明することを求めています。 ・事故の当事者となった職員を守るためにも、院内事故調査でおさえておくべきポイントを学びます。	・医療事故調査制度 ・(院内事故調査、第三者機関による医療事故調査等の概要) ・院内医療事故調査の留意点 ・本制度に関する最新の情報提供 など	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	#VALUE!	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	㉕ 感染管理の原理原則と感染症の最新情報	医療安全研修と並び感染症に対する研修会も、医療の質を担保するうえで不可欠の研修となっています。リスクの高い患者が多い中で、注意すべき点を整理し、今だからこそ行う感染対策の基本を再確認します。	・感染とは ・院内で守らなければならないルールと動機づけ ・感染対策について	全職員	60分	(株)メディカルクリエイト	聖マリアンナ医科大学病院 感染制御部 感染管理認定看護師 中谷 佳子	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	㉖ 医師が語る 誤嚥防止～摂食嚥下とは～	口腔から食道までの構造を解説し、人がものを飲み込む動作の中でのどのような時にむせ込むのかを整理します。嚥下の機能を理解したうえで、食を提供する際の注意点を、むせってしまった時の対処方法などを理解します。嚥下機能の実際を見ることもできます。	・嚥下に関する解剖整理 ・嚥下運動と嚥下 ・むせ込み時の対応	全職員	60～90分	(株)メディカルクリエイト	東京医科大学 歯学部 臨床教授 JCHO東京新宿メディカルセンター 歯科・歯科口腔外科 部長 中根 桂子	●	-	-	-	●	-	-	50,000	-	
	㉗ サイバー攻撃の脅威とその対策～情報漏えい等に備えて、職場で留意すべき事項～	厚労省のサイバーセキュリティチェックリストの対応も踏まえて、医療機関に対するサイバー攻撃の現状と医療現場において実施しておくべき事項を解説します。 ・サイバー攻撃は、年々高度化・巧妙化してきており、今や医療機関においてもサイバーリスクは適切に対応すべき重大な課題となってきました。すべての職員がサイバー攻撃の現状を認識し、対策の防止あるいは最小化するのために必要なセキュリティ対策を理解しておくことが重要です。 ・国内外のサイバー攻撃の最新動向や攻撃手口、医療機関を対象としたサイバー攻撃の事例を紹介するとともに、医療現場で職員が留意すべき事項を解説します。	・サイバー攻撃の現状 ・国内における病院のサイバーリスク ・職場における情報セキュリティ対策	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	●	-	65,000	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	
	㉘ その他	上記以外で、講師や内容についてご要望をいただければ、関係者と検討させていただきます。	-	全職員	-	-	-	相談	相談	相談	相談	相談	相談	相談	相談	相談	相談
	㉙ ロールプレイ ※現地開催 ※一回の参加者10名以上 ※全席で3回以内	参加者を数名毎のグループに分け、その中で患者役・医療機関役・観察役を設定します。 当日配布されるシナリオを読み、各担当の役になりきりロールプレイを実施します。 →絶対に笑わず、真剣に取り組むことが重要です。 その後、実施したロールプレイを振り返り、気づきを共有して発表を実施します。	・ロールプレイやリ方説明 ・ロールプレイの実施 ・発表交換・発表 ・講評	全職員	80分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	-	-	-	●	-	半額 ~17,500	15,000	全額	
	㉚ 【★NEW★】 医療者が押さえておきたい接遇のポイント	患者に安心感を与えることができる行動についてのポイントを解説します。 ・「接遇」は一般的なサービス業に求められるスキルの一つですが、医療現場で求められるスキルとしては、その意味合いや性質が若干異なるため注意が必要です。 ・患者に安心感を与えるための行動、すなわち、患者との適切なコミュニケーションの関わり方への理解を深めることが狙いです。	・接遇・マナーとしての接遇と医療における接遇の違い ・患者対応ケース・スタディ	全職員	60分	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 サービスクラール	上級コンサルタント 北本 渉	●	-	-	-	●	-	半額 ~17,500	65,000	全額	

※SOMPOリスクマネジメントの料金は、地区単独開催がSOMPOジャパン(株)との共催かにより地区負担金額に変動があるため、ご注意ください。
※SOMPOリスクマネジメントが提供するものは、一つの地区が毎年連続して共催することはできません。

单位	地区
----	----

[illegible]

令和8年度 補助対象研修一覧③(無料プログラム)

								県医	地区
項目	番号	研修名	骨子	概要	時間	保険会社	講師氏名	負担	負担
その他	①	医療業界のサイバーリスクの現状及び対策	・サイバーリスクとは ・医療業界のサイバーリスク現状 ・事例紹介 ・改正個人情報保護法 ・リスクマネジメント ・サイバーリスク保険概要	2021年10月の徳島県の半田病院の事件以降、医療機関への攻撃が激化している。2022年の医療機関の被害件数は、過去6年間通算の1/3にも上るとのデータもある。 医療界におけるサイバー攻撃としては、新型コロナウイルスワクチン・治療薬の開発競争の妨害・情報詐取等の目的で国家間攻撃が報道されている。 サイバーセキュリティリスク対策は、今後の備えとして必要不可欠である。業界の現状や実事例の解説とその対策を解説する。	60分	東京海上日動火災保険株式会社	広島支店企業公務金融室	-	-
	②	職場トラブル防止の考え方	・職場トラブルの現状 ・ハラスメントとは(パワハラ防止法) ・ハラスメント防止の基本的な考え方 ・事例紹介 ・リスクマネジメント ・雇用トラブル対応保険概要	職場トラブルの相談件数は年々増加しており、年間約130万件に上る(労働者の44人に一人が巻き込まれている計算)。このような背景から、2022年4月、いわゆるパワハラ防止法の対象が拡大し、全事業主に雇用管理上必要な防止措置を講じることが義務化された。 2024年問題(勤務医の働き方改革)以降、医療機関における人材確保の課題はより鮮明になると予測され、労働者が働きやすい環境の整備が必要である。 ハラスメント防止の基本的な考え方に加え、各種法改正を踏まえた事業主が求められる対策等を解説する。	60分			-	-
	③	働き方改革と健康経営	・企業人事を取り巻く環境変化 ・「働き方改革」「健康経営」と就業不能リスク(新卒社会人、メンタル、治療・介護と仕事) ・企業価値上昇のために(福利厚生、健康経営銘柄)	事業主を取り巻く環境が変化している。労働力人口の減少や「働き方改革」、「健康経営」への関心が高まり、人材の採用・定着のため、事業者にはメンタル不調者対策、治療・介護と仕事の両立、女性の活躍推進等、様々な課題が振りかかる。 各種法令等を踏まえ、医療機関が人材を確保し続けるための、福利厚生制度や健康経営銘柄制度等、事業魅力上昇策の一例について解説する。	60分			-	-
	④	事業継続計画・タイムライン	・医療機関を取り巻く事業継続リスク ・事業継続計画とは ・厚生労働省ガイドライン ・策定ツール ・事業継続、早期復旧のためのリスクマネジメント	2017年3月の厚生労働省通達により災害拠点病院を除く全病院に、事業継続計画策定(BCP)が努力義務化されているが、8割の病院が策定できていない状況である(2018年12月公表)。 また、2021年4月からの診療報酬改定の通知等により、介護福祉施設のBCP策定が義務化された(策定は3年間の猶予あり／罰則なし)。 医療・介護を取り巻く様々な事業継続リスク(自然災害、感染症、サイバー攻撃等)の概況を踏まえ、医療・介護施設におけるBCPの基本的な考え方を解説する。	60分			-	-
	⑤	物価上昇リスクに備える医業経営	・昨今の物価上昇の現状 ・金融リテラシーの基本 ・開業医の資産構築について ・事業承継に関わるリスク	昨今の物価上昇における財務の安定は、経営基盤の安定に直結する。社会保障が疲弊している中で自らで防衛できるファイナンスリスクの管理が長期経営においては必要不可欠。かつ、資産税が検討されている中、最高税率である相続税55%。 医業を存続していくため、地域に医療を安定的にお届け頂くため、必要となる資金(出資金・分割金、相続税、贈与税)を見据えた財務計画等について解説する。	30分 ～ 60分			-	-
その他	⑥	メディカルリスクマネジメントの基礎知識① ～医療事故と損害賠償責任の基礎知識～	・医療訴訟とは ・医療訴訟に発展した場合のロード ・損害賠償の基礎知識 ・医療特有の義務	医療訴訟と、医療事故発生時の法律上の損害賠償責任について解説する。具体的には、医療訴訟の実態、損害賠償の基礎知識、インフォームドコンセントの必要性とその実務について説明する。過去の事例を交えながら、医療従事者が適切な対応を行うためのガイドラインを提示し、患者との信頼関係を維持し、紛争を防ぐための実践的な知識を提供する。	60分	東京海上日動火災保険株式会社	中国損害サービス部 火災新種損害サービス室	-	-
	⑦	メディカルリスクマネジメントの基礎知識② ～初期対応の重要性～	・初期対応の重要性 ・適格の組織対応 ・苦情受付時の確認ポイント ・誤った謝罪	医療事故発生時の初期対応の重要性について解説する。具体的には、事故後の患者対応の要点や、誤った謝罪による問題を事例として取り上げ、適切な対応方法を提示する。さらに、コメディカルスタッフが関与する医事紛争事例を紹介し、医療事故後の的確な対応がいかに重要であるかを強調して説明する。	60分			-	-
	⑧	メディカルリスクマネジメントの基礎知識③ ～最近の医療事故・紛争の傾向～	・医療訴訟の現状 ・民事訴訟のトレンド ・医療事故の争点・解説	本研修では、医療過誤師匠の件数や判決時の敗訴率、和解事案率などをもとに、医療訴訟の現状や傾向を学ぶ。また、実際に起きた医療事故をいくつか例として取り上げ、事故の概要や、論点となるポイント、損害賠償責任の有無、保険金の適用可否などを解説する。	60分			-	-
	⑨	メディカルリスクマネジメントの基礎知識④ ～インフォームド・コンセント 説明義務と診療記録～	・インフォームド・コンセントと説明義務 ・医療訴訟にみる説明義務違反 ・診療記録の重要性 ・説明義務に関するその他の論点(Q&A)	本研修では、インフォームド・コンセントに関する説明義務と診療記録の重要性について解説する。具体的には、医療訴訟における説明義務違反の事例や、説明不足が原因で起こる問題点を取り上げ、医療従事者がどのように適切な情報提供を行うべきかを説明する。また、診療記録の重要性にも触れ、記録の不備が訴訟に与える影響についても詳しく説明する。これにより、医療現場でのトラブルを未然に防ぐための具体的な対策を学ぶ。	60分			-	-
	⑩	個人情報 ～医療現場における個人情報保護～	・個人情報漏えいインシデントの傾向 ・個人情報保護法の趣旨 ・不適切な対応がもたらす損失や影響 ・日常業務での留意点	本研修では、医療現場における個人情報保護の重要性について解説する。具体的には、個人情報漏えいインシデントの傾向や、個人情報保護法の趣旨、不適切な対応がもたらす損失や影響について説明する。また、日常業務での留意点として、電話や面会希望者への対応、保険会社や弁護士会からの問い合わせへの対応方法についても触れ、具体的な事例を交えて解説する。これにより、医療現場での個人情報保護の徹底を図る。	60分			-	-

※ 年3回以上の研修会開催をご希望の場合は、当該無料プログラムからご検討ください。無料プログラムは、1回目からでもご利用可能です。